

令和 5 年度化学肥料低減定着対策事業
肥料の効率利用農機のモデル導入支援 導入成果

導入機械	マニユアスプレッダー (スター TMS2092W)
対象作物	水稻、里芋
導入時期	令和6年 1 月
導入者区分	農業法人(認定農業者)
導入成果 (導入した農業者の声)	●散布面積の拡大 21ha (R5:9ha → R6:30ha) ●導入前の課題 夏の高温が深刻化する中において、令和 5 年産米では米の等級低下が広範に発生し、一等米比率が大幅に低下した。そのため、堆肥等の有機質肥料による土づくりの必要性が高まっていた。 ●導入による効果 最大積載量 2,000kg のマニユアスプレッダーを導入することで、堆肥置場と圃場とを往復する回数を減らして、作業効率が向上した。それによって、堆肥の散布面積を拡大することができ、令和 6 年産米の等級の向上に寄与した。 化学肥料使用量を慣行栽培より 3 割程度減少させることを目指し、引き続き堆肥の散布を続けていく。
作業の様子	   